



NEWS, EVENT, LECTURE,
SEMINAR, EXHIBITION...

八重瀬町安里の上江門家にて 古民家体験モニターツアー開催

沖縄の古民家を保全・再生・活用するため、サイト運営やイベントなどさまざまな活動に取り組む団体「沖縄古民家サポーター会議」は7月16日(土)、外国人を対象とした古民家体験モニターツアーを八重瀬町安里の上江門家にて開催しました。

多々名(たたな)按司の末裔と伝えられる上江門家は、初代が1700年代に

屋敷を構えたときとされ、大正期に瓦葺き屋根に、また1960年の改修により現在の形になったという古民家。約600坪の広々とした敷地内にはフクギなどの屋敷林が生い茂り、門からの格調高いアプローチが特

徴です。

同家の家主である上門加代子さんの協力もあって行われたツアーには、浦添市国際交流協会の日本語クラスを受講している外国人やボランティアら12名が参加。最初に沖縄の古民家や上江門家の特徴についての説明があり、参加者は初めて訪れた古民家を興味深そうに見学した後、カレー作りやヨガ体験なども楽しみました。

ツアー後のアンケートでは、参加者全員が「満足」「伝統的な住宅を保護・保全することは重要」と回答。また「歴史や文化を学べる」「観光資源になる」「ガイドブックに載ってない場所なのでよかった」などの意見や感想が寄せられ、満足度の高さがうかがえました。



ツアーに参加した方々
写真提供/沖縄古民家サポーター会議